

[インデックスに戻る](#)

## 2. 2次関数

### 2-1. 2次関数とグラフ

#### 2-1-2. 2次関数のグラフ

##### 2-1-2-2. 一次の項がない2次関数

図形を、形・大きさ・向きを変えずに、一定の方向に一定の距離だけ移動することを、**平行移動**という。

2つの2次関数  $f(x) = ax^2$  と  $g(x) = ax^2 + b$  について、

$$g(x) = f(x) + b$$

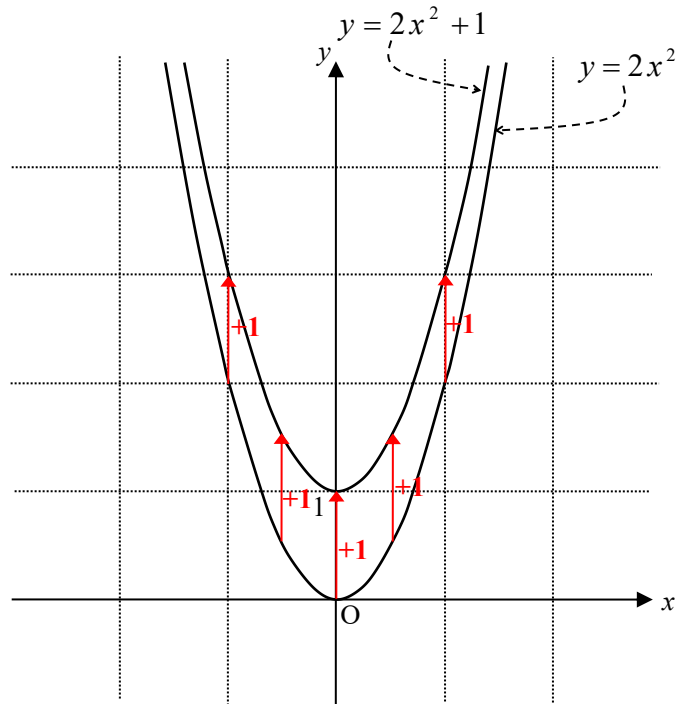
が成り立つ。このことから、 $y = g(x)$ のグラフは $y = f(x)$ のグラフを $y$ 軸の方向に $b$ だけ平行移動したものである。

例  $y = 2x^2 + 1$

$y = 2x^2$  と  $y = 2x^2 + 1$  を比較する。

$x$	-3	-2	-1	0	1	2	3	
$2x^2$	18	8	2	0	2	8	18	+1
$2x^2 + 1$	19	9	3	1	3	9	19	

したがって、 $y = 2x^2$ のグラフをもとに、 $y = 2x^2 + 1$ のグラフを描くと次のようになる。



[インデックスに戻る](#)